

令和3年度 学校経営上の具体的方策

重点努力事項と具体的な取組

1 よく考え、進んで学ぶ子どもを育てる

(1) 基礎基本を身に付けた子どもにする

- ① 分かりやすく楽しい授業づくり (校内研究：算数科を中心に)
- ② 授業規律の確立 (川崎小学びスタンダード) の徹底
- ③ 家庭学習の習慣化 (学習時間 学年×10分+10分)
- ④ CDTテスト・全国学力学習状況調査で宮城県平均点を達成 (数多くの課題への取組と解き方・考え方の学び)

(2) 話を聞き、認め合い、自分の考えを発表できる子どもにする

- ① 教師や友達の話聞かせ、考えを持たせ、考えを発表
- ② 集団解決場面や学び合いの工夫

(3) 本とパソコン (タブレット) が大好きな子どもにする

- ① 読書習慣の確立 (朝の読書タイム, 図書室利用の奨励, 読書月間の設定)
- ② ICT教育の推進 (上学年：パソコンやタブレットでのローマ字入力, パワーポイント等の活用)

2 優しさと思いやりのある子どもを育てる

(1) 友達のよさを認め物を大切にする子どもにする

- ① 友達の呼び方を ~さん・~くん付けで
- ② 友達のいいところ, 自分の努力, 人の優しさ, 善い行いなどの紹介
- ③ 道徳科「生命の尊重」「思いやり」の重点的指導
- ④ 靴のかかとを潰して履かない, 靴紐を結ぶ, 靴をそろえる, 物を丁寧に扱う指導

(2) 思いやりのある言葉遣いができる子どもにする

- ① あいさつや丁寧な言葉遣いについて振り返る機会の設定
- ② 友達への過干渉, 悪口, 噂話, 荒い言葉遣い, 粗野な振る舞い等への継続的指導

3 心も体もたくましい健康な子どもを育てる

(1) たくましい心・体づくりに取り組む子どもにする

- ① 人間や動植物の命の大切さの意識化
- ② 体力と持久力の向上のための, 業間マラソン・縄跳び等の実施
- ③ 集団下校, 避難訓練, 集団行動指導の実施
- ④ 感染症予防意識や健康意識を高めるための健康だよりの発行
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症への正しい知識, 差別や偏見を防ぐ冷静な行動, 罹患した者への思いやりの心の育成

4 特別支援教育を充実する

- (1) 特別支援教育についての研修を充実させる
専門研修会等への積極的な参加と伝講の実施
- (2) 特別支援学級との連携を深める
個別指導の充実と交流学級との積極的連携
- (3) 通常学級の気になる子へ支援をする
 - ① 特別な支援を要する児童の早期の把握と組織的な対応
 - ② 月1回程度の特別支援会議または教育相談の実施

5 安全安心な学校づくりを推進する

- (1) 交通安全指導を徹底させる
通学路の安全確保のための安全部やPTAとの連携
- (2) 施設設備の安全点検を確実に実施する
定期的な点検による安全確保
- (3) 自分の命を守る自助指導を徹底する
防災マニュアルに基づく、避難訓練や防災訓練の充実

6 開かれた学校づくりをする

- (1) 地域との連携を深める教育活動を充実させる
支倉常長まつりへの参加
- (2) 学校の教育方針の周知をする
学校ホームページによる教育活動の紹介
- (3) 学校支援ボランティア活用を推進する
生涯学習課事業を活用した教育活動

7 組織力を充実させる

- (1) 職員間で情報を共有する
職員会議・打ち合わせ・炉辺談話等での情報の共有（情報のオープン化）
- (2) 学年部会を充実する
日々の案件の情報共有・共通認識と学習進度の調整
- (3) 学校運営を改善し続ける
 - ① PDCAサイクルを意識した学校評価
 - ② 保護者アンケートの実施
- (4) 働き方改革を迅速に実行する
 - ① 学校行事の軽減・削減及び横断的なカリキュラムマネジメントの充実
 - ② 会議資料等のペーパーレス化